



◆ News Release ◆

報道関係各位

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ(平成28年度)決算について

阪急交通社グループ平成28年度(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)の決算について、下記のとおりお知らせいたします。

	記 (単位:百万円)	
	営業収益	営業利益
平成28年度 (平成29年3月期)	29,938 (98.2%)	637 (93.6%)
平成27年度 (平成28年3月期)	30,502	680

* 阪急交通社グループ会社3社 (株式会社 阪急交通社、株式会社 阪急阪神ビジネスホテル、株式会社 阪急トラベルサポート)の合計数値

●海外旅行

台湾、中国などのアジア方面やオセアニア方面の集客は、積極的な商品展開により活況な推移を示しましたが、国際情勢悪化の影響を受けたヨーロッパ方面は減少しました。一方、法人業務渡航部門は、わが国経済の緩やかな回復基調のもと、引き続き好調な企業業績の影響もあり、安定的に推移しました。

●国内旅行

うるう年の「逆打ちお遍路」によって四国方面が好調に推移し、北海道新幹線開業効果で北海道・東北方面も堅調でありましたが、4月に発生した「平成28年熊本地震」の影響により、九州方面の集客が減少し、「ふっこう割」などを活用して需要喚起を図りましたが、前年を若干下回りました。

●訪日旅行

訪日需要の拡大を背景に、特にヨーロッパからの集客が好調で、取扱いが増加しました。

【今後の見通し】

海外旅行では、国際情勢において不安定要素はあるものの、復調基調のヨーロッパ方面を中心に、台湾などのアジア方面や北中南米方面など、全体的に前年を大きく上回り推移しています。全国各地からのヨーロッパ方面への航空機チャーター商品の集客も好調です。国内旅行では、遠距離の北海道、沖縄方面も活況で、昨年地震の影響を受けた九州方面も急速に回復しています。各自治体と連携した深掘り商品などが伸長しており、概ね堅調に推移すると思われます。海外・国内旅行ともにクルーズやハイキングツアー、チャーター(航空機、船、列車)などの特化型商品の強化、個人旅行への積極的な取組みを図り、新たな顧客層の拡大を目指していきます。訪日旅行では BtoB、BtoC 双方の強化、法人団体・業務渡航では営業規模の拡大など、引き続き積極的に取り組んでまいります。

平成28年度取扱額

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

【旅行事業】

●取扱額

(単位:百万円)

会社名	年度	海外旅行	国内旅行	外国人旅行	総取扱額
阪急交通社	平成28年度	148,491	126,944	2,553	277,987
	平成27年度	162,588	130,606	2,169	295,364
	対前年度比(%)	91.3%	97.2%	117.7%	94.1%
阪急阪神ビジネス ネストラベル	平成28年度	40,341	3,751	200	44,291
	平成27年度	40,369	3,273	0	43,642
	対前年度比(%)	99.9%	114.6%	—	101.5%
阪神トラベル・ インターナシヨ ナル	平成28年度	3,353	121	0	3,474
	平成27年度	4,080	272	0	4,351
	対前年度比(%)	82.2%	44.6%	—	79.8%

(単位:百万円)

会社名	年度	海外旅行	国内旅行	外国人旅行	総取扱額
グループ3社 合計取扱額	平成28年度	186,991	129,006	2,752	318,750
	平成27年度	201,127	132,534	2,169	335,830
	対前年度比(%)	92.9%	97.3%	126.9%	94.9%

*グループ3社(株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネスネストラベル、阪神トラベル・インターナショナル株式会社)

*グループ内取引を相殺したものです。

*総取扱額にはその他を含みます。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋3-3-9 TEL:03-6745-7333/FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-25 TEL:06-4795-5711/FAX:06-4795-5724